

第10回 日本循環器理学療法学会学術大会

Message



今後、本邦における人口構造や社会情勢の変化へ順応するために、本会の多様性、有様、仕様、多岐多様などへ対応し適合化するために様々なバリア要因が予測されます。

第6回学術大会では、「健康寿命の延伸を図るための方策の構築」をテーマに今後の本会の有様を提案致しました

私の一文字

様

#ひなたde学会

第6回大会長
田畑 稔

(東京保健医療専門職大学 教授 * 2022年当時)

